

平成29年第4回定例会 代表質問

市長答弁

蛭田 浩文議員（未来民進ち

質問8 経済農政について

(1) 新たな競輪（250競輪）について

ア <sup>にーごーまる</sup>250競輪実施に関する市長の見解について

ば)

(経済農政局経済部公営事業事務所)

(経済農政局経済部経済企画課)

(答弁)

次に、新たな競輪についてお答えします。

まず、<sup>にーごーまる</sup>250競輪実施に関する見解についてですが、

一 昨年<sup>にーごーまる</sup>の事業廃止方針表明に至った理由は、老朽化した施設の大規模修繕等の費用を賄えるだけの収益確保が望めないということでありました。

これに対し、事業者からの提案である民間資本の導入による施設建替えと<sup>にーごーまる</sup>250競輪の実施により、施設更新を行なった上で、現状以上の市財政への寄与の可能性も見込まれることが、<sup>にーごーまる</sup>250競輪による事業継続方針表明に至った最大の理由であります。

また、競輪の既存ファンに加え、新規ファンを取り込むことができれば、本市のみならず競輪業界全体にとっての貢献が図れるほか、国際規格に則った環境を提供できることで、我が国の自転車競技にとってはトラック競技分野で国際的に活躍できる選手の育成に向けての貢献が図れるものと考えております。加えて、屋内施設化することで、競輪や自転車競技以外の他スポーツや音楽イベントでの利用など、自転車を核としながらも

様々な形での事業展開の可能性が考えられます。

そして、新たに整備される多目的スポーツ施設が、将来的には新体育館とも相まって創出する賑わいにより、千葉公園周辺地域に新たな活性化の芽をもたらすことが期待されるということとを合わせ、先般の判断に至ったものです。

質問 8 経済農政について

(1) 新たな競輪(250競輪)について

イ <sup>にーごーまる</sup>250競輪実施に伴い今後期待することについて

(経済農政局経済部公営事業事務所)

(経済農政局経済部経済企画課)

(答弁)

次に、<sup>にーごーまる</sup>250競輪実施に伴い今後期待することについてですが、

まず、競輪事業を含めた自転車スポーツの面での活性化と、これに伴う千葉駅から千葉公園までのエリアの活性化が挙げられます。

屋内の250m木製バンクにおいて、ケイリンなどの短距離種目や、中・長距離種目といった多様な自転車トラック競技を、国際的大会や<sup>にーごーまる</sup>250競輪などにより展開することで、本市の、さらには、我が国の自転車スポーツの振興につながっていくこと、また、地元貢献の観点では、市民利用や近隣高校等の練習場所として、これまで以上の環境を提供できるということに、期待を寄せるところです。

加えて、多目的スポーツ施設の集客施設・収益施設としての活用により、市民に千葉駅から千葉公園までのエリアにおける新しい楽しみ方、過ごし方が提供できることを期待しております。

本市は、比較的平坦な土地柄であることや、海辺、河川、里山など恵まれた地域資源を活用し、自転車レーンの整備やサイクルツーリズムなど「自転車を活用したまちづくり」を

意欲的に推進しておりますが、その中で、再整備される千葉競輪場が、我が国全体を見渡した中でも特徴的な自転車の拠点となれば、さらなる施策推進の原動力になるものと期待するところです。

神谷副市長答弁

質問 8 経済農政について

(2) グリーンツーリズムの推進について

ア 特区民泊の進捗状況について

(経済農政局経済部観光プロモーション課)

(総合政策局総合政策部国家戦略特区推進課)

(答弁)

市長答弁以外の所管についてお答えします。

はじめに、グリーンツーリズムの推進についてお答えします。

まず、特区民泊の進捗状況についてですが、

これまで、特区民泊に関する認定申請の審査基準などを定めたガイドラインの策定や市街化調整区域において特区民泊を実施する場合に必要な千葉県開発審査会の付議基準の改正など、制度整備を進めて参りました。

また、特区民泊の制度周知や制度に関心のある事業者などの情報収集を目的に、千葉県宅地建物取引業協会、住宅メーカーなどに対して特区民泊の事業の趣旨などについて説明を行ったほか、若葉区いずみ地区で開催した会議の場を用いて、地元自治会の代表者に対して説明を行ったところです。

住宅を活用した宿泊サービスを検討している事業者等の方を対象とした「事業者向け説明会」では、30社程度の方が出席するなど、特区民泊に関する関心の高さが窺えるところであり、説明会に合わせて実施した特区民泊の実施意向に関するアンケート調査をもとに、支援を希望する方に対し、個別に相談を行うこととしております。

今後は、国家戦略特別区域法に基づく国の計画認定に向けた

手続きを進めるとともに、計画認定後速やかに、特区民泊の事業者支援として、設備等の初期投資に対する補助制度について広くPRを行い、より一層の特区民泊の促進に向け取り組んで参ります。

神谷副市長答弁

質問 8 経済農政について

(2) グリーンツーリズムの推進について

イ グリーンツーリズムの推進にあたっての課題について

(経済農政局経済部観光プロモーション課)

(経済農政局農政部農政課)

(経済農政局農政部農業経営支援課)

(答弁)

次に、グリーンツーリズムの推進にあたっての課題についてですが、

平成28年の千葉県観光入込調査の「目的別観光地点等分類別の入込状況」においては、本市の観光地点入込客数は1,374万3,000人のうち、「里山」「谷津田」などの自然を体験する観光の状況は12万5,000人と低い数値となっております。

このような中で、内陸部にある本市ならではの観光資源を「グリーンツーリズム」として、現在、進めている「特区民泊」を絡めた事業展開を行うにあたり、特区民泊事業者の確保に加え、内陸部の観光資源を地域住民の合意や参画を図りながら、ブラッシュアップし、「集客」と「魅力」を向上させ、いかに広く認知してもらうか、さらには、内陸部で滞在型余暇活動の促進の中で、周遊における交通手段の確保など、いくつかの課題があると認識しております。

神谷副市長答弁

質問 8 経済農政について

(2) グリーンツーリズムの推進について

ウ グリーンツーリズムの今後の方向性について

(経済農政局経済部観光プロモーション課)

(経済農政局農政部農政課)

(経済農政局農政部農業経営支援課)

(答弁)

次に、グリーンツーリズムの今後の方向性についてですが、本市における「グリーンツーリズムの推進」にあたっては、内陸部における「緑」「里」「農」といった自然豊かで、日常と異なる「やすらぎ」を得られるエリアに、より多くの市内外の方々に来ていただくことを目的として、泉自然公園や、グリーンビレッジ3施設などの魅力発信による集客力アップとともに、誘客するターゲットなどのマーケティング調査を行い、より効果的な集客を目指し、取組みを進めて参ります。

また、滞在時間の増加による地域の活性化に向けて、点在する施設を、面として楽しんでもいただくとともに、「富田さとにわ耕園」や、隣接する乳牛育成牧場の魅力の向上を図るため、民間のノウハウ活用や、大学生による取組みについて、検討を進めていくこととしております。

さらに、市内産の農産物を気軽に食べられる場や、購入できる場を見える化する「地産地消推進店登録」について、今年度から市街地を中心に取り組んでいるところですが、さらなる地産地消の輪を広げていくため、内陸部に拡大するための掘り起こしを行い、豊富な地域食材の価値の向上とともに、



来訪者の満足度アップとリピーター獲得につなげて参ります。

今後は、広域的な連携による魅力発掘を行いながら、戦略的なプロモーションを展開し、グリーンツーリズムを推進するとともに、エリア全体のブランド価値の向上を目指して取組みを進めて参ります。

## 神谷副市長答弁

## 質問 8 経済農政について

## (3) インバウンドについて

## ア 無料W i - F iの今後の取組みについて

(経済農政局経済部観光M I C E企画課)

(答弁)

次に、インバウンドについてお答えします。

無料W i - F iの今後の取組みについてですが、

本市に外国人観光客を迎えるにあたり、快適に利用できる無料W i - F iの環境を整備することは重要であります。

現在、本市がJ R海浜幕張駅前に無料W i - F iを2基設置しているほか、市内には民間事業者の無料W i - F iのアクセスポイントが多く設置されておりますが、無線L A Nのアクセスポイントを識別するための名称であるS S I Dが統一されていないため、外国人観光客にとっては使い勝手がよくないことが大きな課題となっております。

民間事業者との連携により、行政負担を抑えつつ、エリア内のアクセスポイントのS S I Dを統一し、利便性を高める取り組みを行っている他の自治体の事例もあることから、本市といたしましても、民間事業者などとの協議に着手するなど、市内の無料W i - F i環境の利便性向上を図って参りたいと考えております。